

# 国立音楽大学附属高等学校

同窓会主催

## 映画「ハンナのかばん」上映会 & 石岡史子女史によるお話



© NPOホロコースト教育資料センターKokoro

【未来への希望がつまっている、

悲しいけどあったかい物語】

ドキュメンタリー映画（日本語字幕付き、90分）

アウシュビッツから届いた1つのかばん。  
そこには「Hanna Brady」と刻まれている以外は何も語って  
はいなかった。石岡氏はその真実の声を求める旅を始めたが、  
それは壮大なドラマを産み出すこととなった。



映画予告編  
You Tubeでご覧いただけます。

2013年11月17日(日)

開演：10時30分  
会場：国立音楽大学附属中学校・高等学校 講堂  
入場料：1,000円（小学校5年生以上が対象となります）  
後援：国立市・国立市教育委員会  
国立音楽大学附属中学校・高等学校

「ハンナのかばん」パネル展

2013年9月21日(土)・22日(日)

時間：9時30分～16時  
会場：国立音楽大学附属中学校・高等学校 2号館-210  
入場料：無料

石岡史子氏

(ホロコースト教育資料センター代表)

1995年イギリス・リーズ大学大学院開  
発学部修士課程修了。1998年10月より  
NPO法人ホロコースト教育資料セン  
ター代表。児童書『ハンナのかばん』(ポ  
プラ社)の記者であり作中人物。同書は第49回青少年読書感想  
文全国コンクール課題図書に選定。アンネ・フランク、杉原千畝、  
「ハンナのかばん」などを題材にして、国内外の小中学校から大  
学、PTAや教員等大人まで、これまでに1,000ヶ所以上で平和と人  
権の訪問授業・セミナーを行っている。  
2010年より、愛知教育大学非常勤講師。2004年カナダ・ヨーク大  
学より名誉博士号を授与される。



チケット取扱い

国立楽器 Tel: 042-573-1111  
国立楽器 音大店 Tel: 042-535-9518  
白十字(国立駅南口) Tel: 042-572-0416  
国立音楽大学附属高等学校同窓会事務局

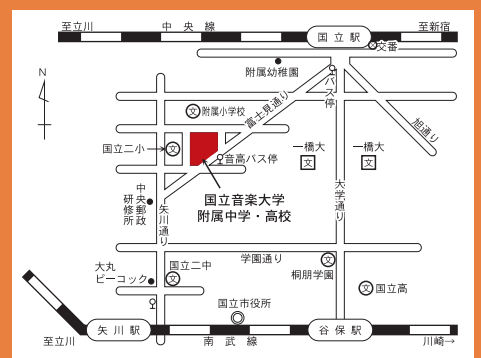
お問い合わせ

国立音楽大学附属高等学校同窓会事務局  
電話&FAX 042-572-8014 (月曜日・水曜日11時～17時)  
E-mail onkou-d@amber.plala.or.jp  
HP <http://www.kunitachionkou.org/>

JR中央線国立駅南口下車  
富士見通りを徒歩13分  
もしくは  
「国立駅」バス停より乗車  
「音高」下車

JR南武線矢川駅下車  
徒歩13分  
もしくは  
矢川駅前バス停より  
国立駅南口行(音高まわり)乗車  
「音高」下車

※駐車場はございませんので  
公共機関をご利用下さい



Kokoroに届いた  
ハンナのかばん



ドキュメンタリー映画 ハンナのかばん

# Inside Hana's Suitcase

監督/Director:ラリー ワインスタイン/Larry Wainstein(Canada)

脚本/Writer:トーマス ウォルナー/Thomas Wallner(Canada)

撮影監督/DOP:ホルスト ザイドナー/Horst Zeidner(Germany)

## ストーリー

アウシュビッツ収容所で亡くなった子どもたちの遺品として、2000年、東京のホロコースト教育資料センターに届いた茶色のかばん。「ハンナ・ブレイディ」と名前が書いてあった。いったいどんな子どもだったんだろう？ 見に来た子どもたちはひきつけられるように見入っていた。

所長のふみ子があちこち調べてみると、ハンナの兄ジョージマンがホロコーストを生きのびて、カナダにいることがわかった！ 手紙を送ってみると、お兄さんはハンナの写真を送ってくれた。チェコ生まれの金髪で丸顔のかわいい女の子だった。今でも妹を守れなかったことが、人生で一番の悲しみだと手紙にあった…。

「ハンナのことを知りたい！」という子どもたちは会いに、ジョージマンは日本に来てくれた。そして、涙で目を真っ赤にしたがら話してくれた。夢と希望をもって精一杯生きろハンナの姿、収容所で兄妹、仲間と支えあった日々、お兄さん自身は16才でアウシュビッツを奇跡的に生きぬいたこと、そして今、世界の子どもたちは願うことを。



原作『ハンナのかばん』（ポプラ社刊）

小学生は  
原作『ハンナのかばん』を  
事前に読んでおくと  
映画をより深く味わえる！

ラリー ワインスタイン(監督)

トロント生まれ。ヨーク大学映画課卒業。音楽界で活躍した人物を主人公に多くの作品を作りだしている。特に20世紀に活躍した音楽家のドキュメンタリー作品は世界各地の映画祭にて上映。また、その作品はアカデミー賞ノミネート、多くのジェミニイ賞、エミー賞に輝くなど高い評価を受けている。



## 映画の見どころ



### 音楽にもご注目！

ナチスに抵抗したドイツ作曲家カール・アマデウス・ハルトマンの作品や、強制収容所テレジンでユダヤ人音楽家たちが作曲した音楽が使われています。ギデオン・クライン、ハンス・クラーク、パヴェル・ハースら、才能豊かな音楽家たちがアウシュビッツに送られて命を落としました。

※音楽はこちらから聴けます  
→<http://bit.ly/VD49LE>



「ホロコーストを学ぶ理由は、私たちがもっと人間らしく、心やさしく、思いやり深くなるためです。一人ひとりの命はひとしく、無限の価値があることを知り、このような恐ろしいことが二度と起きないように、人道を重んじる世界をつくりだすためです。」

デズモンド・ツツ

(南アフリカの黒人差別と闘った主教)

1984年・ノーベル平和賞受賞